

平成31年度
第1回大野市総合教育会議
会議録

日 時：平成31年4月16日（火）午後2時～3時45分

場 所：大野市役所 大会議室

大野市総合教育会議

日時：平成31年4月16日（火）

午後2時～

場所：市役所大会議室

1 開会

2 市長あいさつ

3 協議事項

(1) 平成31年度大野市教育方針について

(2) 大野市総合教育会議運営要綱の制定について

(3) その他

大野市総合教育会議出席者名簿

	役 職	氏 名
1	市長	石 山 志 保
2	教育長	久 保 俊 岳
3	教育長職務代理者	洞 口 幸 夫
4	教育委員	清 水 美 那 子
5	教育委員	關 園 子
6	教育委員	麻 生 博 之

(事務局)

1	政策局長	川 端 秀 和
2	総合政策課長	真 田 正 幸
3	教育委員会事務局長	清 水 啓 司
4	教育総務課長	横 田 晃 弘
5	学校教育審議監	千 田 佐
6	生涯学習課長	中 村 吉 孝
7	文化財課長	佐々木伸治
8	スポーツ振興室長	多 田 直 人
9	教育総務課企画主査	竹 田 雄 次

< 傍聴者 >

4 人

1 開会

【市長】本日は4人の傍聴を許可したので報告する。

【教育総務課長】ただ今から、本年度第1回の大野市総合教育会議を開会する。

総合教育会議は、地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して教育行政の推進を図ることを目的に設置されたもので、会議の構成員は地方公共団体の長と教育委員会と定められている。

本日の会議は、大野市総合教育会議設置要綱第2条に定める所掌事務の第2項「教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議」に該当する。

協議事項としては、先月、定例教育委員会で決定いただいた平成31年度大野市教育方針について、市長に説明し、意見交換を行うことを目的に開催するものである。

——<市民憲章・教育理念の唱和>——

2 市長あいさつ

【市長】お忙しい中、ご参加いただき感謝申し上げます。また、日ごろ子どもたちの教育環境の充実はもちろん、子どもから大人までの生涯学習、スポーツ文化の発展といった様々な面において心配りいただいていることについて、重ねて感謝申し上げます。教育総合会議は、教育委員会部局と市長部局が力を合わせて教育行政を進めていけるよう、意思疎通の場、協議の場として設けられている。本年度のスタートを幸先良く切れるよう、本年度の教育方針や市長部局の連携事業について協議したいと考えている。時間は限られているが、活発な議論をお願いする。

3 協議

【市長】協議事項「(1)平成31年度大野市教育方針について」を議題とする。事務局の説明をお願いする。

【教育著】事務局の説明に先立ち、一言あいさつ申し上げます。新年度が始まったこのタイミングで総合教育会議を開催いただいたことに感謝申し上げます。前回の会議では、いじめ・不登校・虐待の防止、教員の働き方改革について、具体的かつ有効な議論ができた。前回の会議の後、児童虐待が疑われる事案が発生したが、教育委員会部局、市長部局、外部機関のスムーズな連携により、24時間のうちに収束することができた。あらためて、この会議の意義を再確認した。本日も重要な時間になると思われるので、よろしく申し上げます。

——<教育委員会事務局長、各課室長説明>——

【市長】 ご意見、ご質問等があればお願いします。

図書館の「新こねずみ文庫」の貸出活動とあるが、以前から「こねずみ文庫」はあったと思うが、「新」と付いてどのような点が新しくなったのか。

【生涯学習課長】 新こねずみ文庫は平成23年度に開設したもので、過去のこねずみ文庫を廃止し新たに開設したということで、この時に「新」という文字を追加した。学校専用の図書に活用されたいとの意向で200万円の寄付をいただき、1,389冊の図書でスタートした。翌年も40万円の寄付をいただき、さらに図書を追加した。その後、市で少しずつ追加しており、現在は2,429冊となっている。内容としては、教科書に掲載されている本や副読本として紹介されている本を中心に、同じタイトルを3冊ずつ揃えており、同じ本を違う学校が同時に借りられるようになっている。

【市長】 学校の図書室に、定期的に普段と違う本が入ってくるのはありがたいと思っている。

キャリア教育という言葉が最近、新聞でよく目にするが、キャリア教育とはどういう内容か。

【教育総務課長】 小学校については、小学6年生が市内の保育所で1日保育体験を行っている。中学校については、市内外の企業や店舗に依頼して職場体験を行っている。

【市長】 成果指標として「将来の夢や目標を持っている割合」が設定されており、小学校6年生で91%、中学校3年生で87%と高い目標が掲げられている。キャリア教育と直接結びつくものではないかもしれないが、そのような目線で実施されているのであれば良いと感じる。

今朝の新聞で、スポーツの全国大会出場を決めた小学生の記事を読んだ。昨年子どもたちがスポーツで活躍する話題を耳にすることが多く、子どもたちがそのように頑張る教育をしていただいていることに感謝している。活躍した子どもが次に繋げていくということもあるので、周囲からも活躍を認める声掛けや表彰等で大事に育てていきたいと思う。

本年度の市の大きな動きとして二つ紹介する。一つは「大野市高速交通アクションプログラム」である。3月に策定して市ホームページにも掲載している。中部縦貫自動車道、北陸新幹線の全線開通を控え、これからの4年間でしっかり準備していくために、市としての取り組みをまとめたものである。このような取り組みを広く紹介していくことで、市民の皆さまの中からも活動が起きてくることを期待している。

もう一つは「健康のまちづくり」である。来る超高齢化社会に備えて、健康第一でいつまでもお元気でいていただくために、市の取り組みをまとめている。スポーツについては、これまでの各種スポーツ大会の開催、市民のスポーツ意欲の増進に加えて、体力測定会とラジオ体操会の開催を予定している。また、これま

でも実施しているが、妊婦健診、乳幼児健診や個別の育児相談、生活習慣病予防を目的とした特定健診、特定保健指導、高齢期の閉じこもりを防止する介護予防事業等を細やかに実施している。これらの活動をより気軽に楽しくできるよう、「ライフステージに応じた切れ目のない健康づくりの支援」「スポーツ、運動を通じた健康の保持増進」を図っていく。

この他、市長部局と教育委員会部局の連携強化としては、子ども子育て支援事業について、子ども子育て支援計画が本年度で最終年度となるので、来年度からの新しい計画を策定するための検討会を福祉こども課で開催していく。また、食育に関する事業については、農業林業振興課で各種事業に取り組んでいく。

【洞口委員】本年度から大野市教育方針が大きく変わった。昨年度は重点的に取り組む事業の最上位に「ふるさとを知り、ふるさとを創る学習の充実」を位置づけていたが、本年度は「学力の向上と安心して通える魅力ある学校づくりの推進」を最上位に位置づけている。これに関連して、中学生の「みこしダンスパフォーマンス」に関するお願いであるが、これまでの9年間は、中学生が中心になってこのイベントを盛り上げてきた。しかし、いつまでもこのスタイルではいけないと考えている。中学生中心から市民全体のイベントに広げていくには、どのようにすれば良いのかを、教育委員会部局と市長部局が一緒になって考えていってもらいたい。

【市長】みこしダンスパフォーマンスを含む城まつりを、市民全体でどのように盛り上げていくか、市、教育委員会だけではなく、実行委員会として検討していきたい。

市長会等で他市の資料を見ていると、大野市の学校教育は全国に誇って良いものだと考えている。例えば、大野市のICT機器の整備率は、全国的に見て高い割合である。また、空調設備についても、市内のすべての普通教室に空調が整備されているのは、良好な事例である。外国語教育についても、小学校に3名のALT（外国語指導助手）を配置しており、日常的に外国人が身近にいる環境があることは、国際化社会を生きていく子どもたちにとって良いことだと考えている。他市に比べて遅れていると思いがちだが、実は他市よりも進んでいる部分もあり、そのような点には自信を持って、その上で、より良い教育環境の整備を考えていければ良いと考えている。

【清水委員】楽しく学校に通えることが、不登校やいじめの防止にもつながると思う。すべての子どもが楽しく学校に通ってもらえると嬉しく思う。

【麻生委員】子どもの発信力を高められる教育、楽しく学校に通いつつ集団の中で厳しさを学ぶ教育というのも重要だと考える。県内の若者で、大学や専門学校を卒業して地元に戻ってくる割合は3分の1程度だと聞いている。このままでは、ますます人口減少が進んでしまうので、大野へ帰ろう事業は、今後も重点的に推進するようお願いしたい。

【**關委員**】みこしダンスパフォーマンス、ふるさと芸能発表会は、地域と一緒にやっていくという視点で検討すると良いと思う。また、ICT機器の整備を進める一方で、紙の本に親しめるよう、図書館のブックスタートや各小学校の図書運動等を実施している点が良いと思う。

本年度、市は健康まちづくりを進めるということだが、健康寿命を延ばすことはとても重要だと思うので、その点に注目されて嬉しく思う。ラジオ体操は、大人が参加していない地域もあるので、大人の参加を強く呼び掛けてもらいたい。

文化会館の運営検討委員会については、いつも同じような人が委員に委嘱される傾向にあるので、今後長く使うことになる若い人や、現在はあまり文化会館を使っていない人の意見も聴いて進めてもらいたい。

【**市長**】いただいた意見を心に留めて、今後の事業の参考にする。

城まつりのみこしダンスパフォーマンス、ふるさと芸能発表会については、本年度の事業には反映できないかもしれないが、来年度以降の事業に反映できるよう考えていきたい。

大野へ帰ろう事業については、これまでとは内容を変えていくことになるが、これまでに作ったものを上手く使い、移住定住施策に生かしていきたい。

文化会館については、若い人や現在あまり使っていない人等、いろいろな人に意見を聴いて体制を整備していくと聞いている。

ラジオ体操については、子どもからお年寄りまで参加いただくことが重要だと考えている。地区によっては老人会に声掛けをして、育成会と老人会が連携して盛り上げている地区もある。楽しみながら進めていくことを考えたい。

【**教育長**】教育委員会では、実効性の高い取り組みを目指している。本年度は、三遊亭圓楽さんの落語会の開催や映画「万引き家族」の上映を予定しており、昨年度は、NHKのラジオ体操教室の誘致にも挑戦した。

大野へ帰ろうについては、上庄中学校吹奏楽部がハンドベルで演奏した楽曲を、JR大野駅で越美北線が到着した時に流しており、形として残すことに取り組んでいる。

また、子どもたちが学校が楽しいと感じられるよう、授業を楽しく頑張れること、いじめや不登校がゼロになることに正面から取り組んでいく。大野っ子育成プランでは「確かな学力を育む学校づくり」「安心して通える学校づくり」という2つの柱を設けている。これは、教育委員会だけで取り組むのではなく「学校業務改善とカリキュラム・マネジメントの推進」を加えた3つの柱で、校長会と、事務局長以下、各課長も徹底的に話をして進めていく。

市長に対しては、小学校へのALT3名の配置やタブレットの導入等、国際化社会、情報化社会に向けた学校のあるべき姿に焦点を当てて予算措置していただいていることに感謝申し上げます。

【洞口委員】教育方針の成果指標の中で、昨年度は小学生の93%、中学生の92%が、学校が楽しいと考えているという調査結果が記載されている。問題は残り7%、8%の子どもたちは、学校が楽しいと考えていないということであり、これが不登校やいじめの問題にもつながっている。不登校については、小学校では5人だったのが、中学校では26人に急増している。いじめの解消率については、小学校では56%だったのが中学校では17%と急激に落ち込んでいる。これは、担任だけ、学校だけでは解決できない問題である。そのため、市がスクールソーシャルワーカーや臨床心理士を雇用して対応しているが、それでも解決は難しい。保護者や子どもたちにも実態を伝え、大野市民が一丸となって取り組んでいかなければ解決できない問題だと考える。教育委員会部局と市長部局が一体となって、また、市民に対しても訴えながら、楽しい学校づくりに取り組んでいけるようお願いする。

【市長】学校が楽しいと考える子どもの割合を100%にするという大きな目標に向けて、市民にどう関わっていただくかということを考えていきたい。いじめを認知することが重要と思われるので、まずは、そのような視点を持っていただくことから始められるといいのかと考える。

【審議監】いじめの解消率については、本人、保護者がいじめが止んだと認識してから3カ月経過して解消となる。教育方針に示した解消率は、平成30年度末時点で集計しているため、年度をまたぐ案件については、いじめが止んでいても解消率に反映されないという事情がある。

【教育長】いじめの解消率については、定例教育委員会の中で随時報告しながら、解消率が100%となるよう取り組んでいく。市長から、いじめの認知を進めていかなければいけないという話があったが、昨年度途中から、いじめの認知範囲を広げて、ちょっとしたからかいやトラブルであっても、そこに深刻な背景はないかということをし、しっかり捉えられるよう取り組んでいる。数字の例としては、一昨年度のいじめの認知件数が小学校と中学校を合わせて8件であったのが、昨年度は22件になっている。実態として、いじめが増えているということではなく、各学校がきちんと対応し、いじめの認知率が上がったということだと考えている。

【市長】平成31年度大野市教育方針については、以上とする。

【市長】協議事項「(2)大野市総合教育会議運営要綱の制定について」を議題とする。事務局の説明をお願いする。

——<総合政策課長説明>——

【市長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【市長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【市長】大野市総合教育会議運営要綱については、提案どおり承認する。

【市長】協議事項（3）その他について、何かあればお願いします。

【総合政策課長】平成29年度から関西大学と連携し、まちづくりや地下水についての研究を行っている。4月19日に昨年度の取り組みの成果報告会を予定しているので、お時間があれば参加願いたい。

4 閉会

【市長】これをもって、第1回大野市総合教育会議を閉会する。

午後3時45分終了